

## 教科書と一緒に進める日本音楽学習の年間計画 そのII（小学校1年生・2年生）

### A Tentative plan of School Music Curriculum for Japanese Traditional Music along with Textbooks II:1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> grade in Primary School

伊 野 義 博

Yoshihiro INO

#### I はじめに

平成10年7月の教育課程審議会の答申において、音楽科の改善の基本方針の一つとして「我が国や諸外国の音楽文化についての関心や理解を一層深める」ことが述べられている。これを受け、平成14年度から全面実施された小中学校音楽科の学習指導要領は、学校教育における日本音楽の取り扱いについて、例えば小学校においては、表現活動における楽器について、我が国に伝わる楽器を含めること、歌唱においては「それぞれの地方に伝承されているわらべうたや民謡など日本のうたを取り上げること」、さらに鑑賞では、「郷土の音楽」や「箏や尺八を含めた我が国の音楽」が取り扱う教材とされている。それぞれの学校の音楽科年間指導計画においては、日本音楽の学習が計画的に位置付けられることが必須とされている。しかしながら、より多くの教師が実際に利用できる具体的なカリキュラムの提示は極端に少なかった。

こうした背景の中で、本研究では、授業において実際に活用されている教科書に注目し、その題材や学習指導内容、学習活動の中に「日本」の視点を関連させ、活動内容や教材を見出しながら、具体的な指導計画を提案することを目的としている。

筆者はすでに「教科書とともに進める」ことを念頭においた日本音楽学習の具体的な発想と年間計画（試案）の第一案を提示した<sup>1</sup>。しかしながら、第一案は、旧教科書にのっとったものであり、平成14年度から利用されている新しい教科書に従った計画が必要となってきた。このような理由から、本研究では、現行教科書をもとにした年間計画を再提案していきたい。なお、本稿では、まず小学校1年生2年生を対象とする。

#### II 試案構想の基本と原理

試案構想の基本と原理は、第一案で示した通りであるが、以下現行教科書<sup>2</sup>に従って整理する。なお、この基本と原理は第一案で詳述されている。

##### 1 構想の基本

- 教科書で提示されている題材、活動を「日本」の視点から見直す。

教科書で示された題材、題材のねらい、活動目標、教材をもとにしてそれを生かし、関連する内容として日本の音や教材を示していく。

○小泉<sup>3</sup>、小島<sup>4</sup>による提案を参考にする。

## 2 構想の原理

教科書に示されている題材は、例えば1学年では次のように配列されている。

- ・みんな なかよし
- ・おんがくに あわせて
- ・いい おと さがして
- ・ようすを おもいうかべて
- ・みんなであわせて
- ・ひろがれ うたの わ

これらの題材のそれぞれに、題材のねらい、活動目標、教材が示されている。例えば題材「みんな なかよし」の場合は次のようになる。

題 材：みんな なかよし

題材のねらい：

- ・音楽活動の楽しさを味わい、進んで表現しようとする意欲を育てる。
- ・友達と一緒に歌ったり、身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。

活動目標：

- ・うたをみつけてうたおう
- ・うたでともたちをつくろう
- ・いっしょにあそぼう
- ・みんなでこうしんしよう
- ・よびかけあつてうたおう

教 材

- ・ちゅうりっぷ
- ・ぞうさんのさんぽ
- ・てとてであいさつ
- ・ひらいたひらいた
- ・さんぽ
- ・あいあい

試案では、教科書の題材と題材のねらいをもとに、活動目標を生かしながら「日本」の視点からみた場合の新たな活動目標、教材例（活動も含む）に留意点を加えながら示していく。例えば、題材「みんな なかよし」の場合は次のようになった。

題 材（共通）：みんな なかよし

題材のねらい（共通）：

- ・音楽活動の楽しさを味わい、進んで表現しようとする意欲を育てる。
- ・友達と一緒に歌ったり、身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。

活動目標：

- ・しっているあそびうたであそぼう
- ・わらべうたでともだちをつくろう
- ・いっしょにあそぼう
- ・うたいながらあるいたりてをうごかしたりしましょう
- ・よびかけあつてうたおう

教材例他

- ・あがりめさがりめ

- ・うさぎのもちつき
- ・しおせんべい
- ・あんたがたどこさ
- ・ひらいたひらいた
- ・ずいずいずっころばし
- ・とおりゃんせ
- ・かごめ
- ・はないちもんめ
- ・地域のわらべうた など

## 留意点他

- ・友達とあそべるわらべうた
  - ・リズムにのって身体表現できるあそびうた
  - ・児童が知っているわらべうた、先生が知っているわらべうた、地域で取材したわらべうた など
- これらの関係を図示すると次のようになる。

| *題材名<br>・題材のねらい  | ・活動目標<br>(教科書版)   | ・教 材<br>(教科書版)   | ・活動目標<br>(試案版)  | ・教 材 例 他<br>( 試 案 版 )   | ・留意点他<br>(試案版)  |
|--|---|--|---|---|---|
| *みんな なかよし<br>・音楽活動の楽しさを味わい、進んで表現しようとする意欲を育てる。<br>・友達と一緒に歌ったり、身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。 | ・うたをみつけてうたおう<br>・うたでともだちをつくらう<br>・いっしょにあそぼう<br>・みんなでこうしんしよう<br>・よびかけあつてうたおう | ・ちゅうりっぷ ほか<br>・ぞうさんのさんぽ<br>・てとてであいさつ<br>・ひらいたひらいた<br>・さんぽ<br>・あいあい | ・しっているあそびうたであそぼう<br>・わらべうたでともだちをつくらう<br>・いっしょにあそぼう<br>・うたいながらあるいたりてをうごかしたりしましょう<br>・よびかけあつてうたおう | ・あがりめさがりめ<br>・うさぎのもちつき<br>・しおせんべい<br>・あんたがたどこさ<br>・ひらいたひらいた<br>・ずいずいずっころばし<br>・とおりゃんせ<br>・かごめ<br>・はないちもんめ<br>・地域のわらべうた など | ・友達とあそべるわらべうた<br>・リズムにのって身体表現できるあそびうた<br>・児童が知っているわらべうた、先生が知っているわらべうた、地域で取材したわらべうた など |

## Ⅲ 試案の実際

このようにして１学年と２学年のすべての題材をそのねらいを生かしながら「日本」の視点から洗い直した（資料１，２参照）。以下、それぞれの題材に従って活動目標ごとに計画を説明する。

## １ 第１学年

- １）題 材：みんな なかよし  
題材のねらい：

- ・音楽活動の楽しさを味わい、進んで表現しようとする意欲を育てる。
- ・友達と一緒に歌ったり、身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：うたをみつけてうたおう

教 材：ちゅうりっぷ ほか

○＜試案版＞

活動目標：しっているあそびうたであそぼう

教 材：あがりめさがりめ うさぎのもちつき

- ・教科書版では、「うたをみつけてうたおう」とされている活動目標は、教科書に掲載されている動植物の絵の中から想像される種々の歌をみつけて歌うことにより実現される。実際に歌われる歌は「ちゅうりっぷ」「めだかの学校」「犬のおまわりさん」「ぞうさん」「ありさんのあつかい」「こぶたぬきつねこ」「こいのぼり」などが予想される。この発想を生かし、試案版では「しっているあそびうたであそぼう」とし、友達と遊ぶことができるたくさんのわらべうたを歌う。「あがりめさがりめ」や「うさぎのもちつき」など、幼児の頃から歌ってきた遊び歌を思い出させたり、教師が紹介したりして歌う。

●＜教科書版＞

活動目標：うたでともだちをつくろう

教 材：ぞうさんのさんぽ てとてであいさつ

○＜試案版＞

活動目標：わらべうたでともだちをつくろう

教 材：しおせんべい あんたがたどこさ

- ・教科書版では、「うたでともだちをつくろう」と題して、友達と一緒に楽しく歌える教材があげられている。試案版では、このことを生かし、「わらべうたでともだちをつくろう」とした。わらべうたのもっている遊びの機能を生かし、「しおせんべい」や「あんたがたどこさ」をはじめ、友達とともに楽しめる歌をたくさん使って学習する。

●＜教科書版＞

活動目標：いっしょにあそぼう

教 材：ひらいたひらいた

○＜試案版＞いっしょにあそぼう

教 材：ひらいたひらいた

- ・教科書版が、わらべうた「ひらいたひらいた」を用いており、ここではそれを生かして、活動目標、教材ともども試案版でも同様にしている。

●＜教科書版＞

活動目標：みんなでこうしんしよう

教 材：さんぽ

○＜試案版＞

活動目標：うたいながらあるいたりてをうごかしたりしましょう

教 材：ずいずいずっころばし とおりゃんせ かごめ

- ・教科書版で目標としている「みんなでこうしんしよう」は、「さんぽ」の音楽を聞きながら、音楽にのって歩いたり歌ったりする活動を通して実現されるようになっている。試案版では、歌のリズムにのって活動できる曲として「ずいずいずっころばし」「とおりゃんせ」「かごめ」などを選択し、同様の効果をねらっている。身体表現により音楽の楽しさを味わうことがねらいである。

●＜教科書版＞

活動目標：よびかけあつてうたおう

教 材：あいあい

○＜試案版＞

活動目標：よびかけあつてうたおう

教 材：はないちもんめ 地域のわらべうた など

- ・ここでは、教科書版の活動目標をそのまま生かすことができる。「よびかけあつて」歌う歌として、「はないちもんめ」を例示している。この歌は、教科書で提示された「あいあい」のように、交互に歌うことができるばかりではなく、身体表現も伴い、身体全体を使って音楽を感じ取りながら学習することが可能である。なお、こうした曲は、地域のわらべうたの中から積極的に取り入れることも一案である。

## 2) 題 材：おんがくにあわせて

題材のねらい：

- ・歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ることができるようにする。
- ・拍の流れに乗って、簡単なリズムが表現できるようにする。

### ●＜教科書版＞

活動目標：じゃんけんであそぼう

教 材：じゃんけんぽん

### ○＜試案版＞

活動目標：じゃんけんであそぼう

教 材：じゃんけんほいほい おちゃらかほい など

- ・教科書版で示されている「じゃんけんぽん」の歌は、じゃんけん遊びを生かしながら、拍の流れにのってリズムを感じ取る学習である。じゃんけんの歌は、わらべ歌でもたくさんあるが、「じゃんけんほいほい」「おちゃらかほい」など、その多くは、拍に合わせて、リズム表現ができるものである。こうした、手遊び歌をはじめとしたリズムにのって遊べる歌を選択し、学習する。

### ●＜教科書版＞

活動目標：けんばであそぼう

教 材：けんけんば

### ○＜試案版＞

活動目標：おべんとうのうたであそぼう

教 材：これっくらいのおべんとう

- ・教科書版では、「けんけんば」の曲のリズムにのって身体表現をしながら、曲を感じ取る学習が計画されている。これを生かし、試案版では、「おべんとうばこのうた」を用いる。言葉のリズムを生かしたリズムカルな歌に合わせて手を動かして遊ぶことにより、目標を達成していく。

### ●＜教科書版＞

活動目標：てをうってあそぼう（てをうちながら、ともだちのなまえをよびましょう）

教 材：ぶんぶんぶん（なまえあそび）

### ○＜試案版＞

活動目標：てをうってあそぼう（てをうちながら、ともだちのなまえをよびましょう）

教 材：ちゃちゃつぽちゃつぽ（〇〇さん はあい などの呼びかけや会話）

- ・教科書版の活動目標をそのまま生かして、手遊びにより拍を感じ取ることができる「ちゃちゃつぽちゃつぽ」を選択した。この歌以外にも、拍感のある曲がたくさんあると思うので、そうした歌の選曲も可能である。なお、教科書には、「てをうちながら、ともだちのなまえをよびましょう」として、「なまえあそび」が教材として示されている。これは、一拍ずつ手をうちながら友達の名前を呼ぶものであるが、わらべ歌には、こうした名前呼びや平易な会話が多くの活用したい。具体的には、「〇〇さん はあい などの呼びかけや会話」であるが、この学習の際、日本の音階（ラソ）で名前を呼び合ったり、歌で会話をしたりして学習する。

### ●＜教科書版＞

活動目標：いっしょにおどろう、カスタネットであそぼう

教 材：しろくまのジェンカ かたつむり

○＜試案版＞

活動目標：うたいながらなわとびであそぼう

教 材：ゆうびんやさんのおとしもの など各種なわとび歌

- ・教科書版の活動目標「いっしょにおどろう」「カスタネットであそぼう」の双方をまとめ、試案版では、「うたいながらなわとびであそぼう」とした。ここでは、音楽に合わせて、身体表現（なわとび）をしながら、歌や曲の流れを感じ取り表現する。なお、なわとび歌は、多種存在する。地域の歌にも取材しながら数種のなわとび歌を活用する。

3) 題材名：いいおとさがして

題材のねらい：

- ・音の響きの違いに気づいたり、音の出し方に関心をもつようにする。
- ・階名模唱や暗唱で歌ったり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：すきなおとをみつけよう

教 材：（タン布林、鈴、トライアングル）

○＜教科書版＞

活動目標：すきなおとをみつけよう

教 材：はと笛、鈴、でんでん太鼓、風鈴、ポッペンなどの日本のおもちゃや楽器

- ・「すきなおとをみつけよう」というよびかけで、教科書版で示してある、タン布林、鈴、トライアングルはすべて西洋の楽器であるので、ここに日本の楽器を取り入れる。「はと笛、鈴、でんでん太鼓、風鈴、ポッペン」などの日本のおもちゃや楽器を用意し、楽器の音色をあてる遊びや、すきな音の出る楽器を用いたお話作りなどを行い、日本の楽器や音色に親しませる。

●＜教科書版＞

活動目標：みつけたおとであそぼう

教 材：きらきらぼし

○＜試案版＞

活動目標・みつけたおとであそぼう

教 材：いちばんぼしみつけた

- ・教科書版で用いられている、「きらきらぼし」に変えて、わらべ歌の「いちばんぼしみつけた」を用いる。ここで、前の活動でみつけた日本の音（楽器）を用いて、星空に合う音の世界を創作する。

●＜教科書版＞

活動目標：どんなおとがきこえてくるかな

教 材：おもちゃのシンフォニー 第1楽章

○＜試案版＞

活動目標：どんなおとがきこえてくるかな

教 材：相撲の拍子木や声、祭囃子、歌舞伎黒御簾の音

- ・教科書版では、レオポルト モーツァットの「おもちゃのシンフォニー 第1楽章」に取り入れられている様々な音と楽器を聞いて学習する計画が立てられている。これを生かし、試案版では、「相撲の拍子木や声、祭囃子、歌舞伎黒御簾の音」など、日本の音の風景や音楽に用いられている様々な音色を出す楽器の名前を当てる。

●＜教科書版＞

活動目標：すきなおとをいれてうたおう

教 材：おもちゃのチャチャチャ

○＜試案版＞

活動目標：すきなおとをいれてうたおう

教 材：「どんなおとがきこえてくるかな」の歌詞をわらべうた風にうたったもの

- ・教科書版では、「おもちゃのチャチャチャ」の「チャチャチャ」の部分に選んだ楽器の音を入れて打つ案が示されているが、試案版ではまず「どんなおとがきこえてくるかな」の歌詞を用いわらべうた風に歌う。例えば、「ドー（ラー）んーな（ソーソ）おーと（ソーラ）が（ソ）きーこ（ソーラ）えーて（ラーラ）くー（ラーソ）るーか（ミーソ）な（ラ）」と歌ったあとでに、見つけた日本の音を入れて楽しむ。

●＜教科書版＞

活動目標：どれみでうたおう

教 材：ひのまる

○＜試案版＞

活動目標：ソラやミソラでうたいましょう。

教 材：これまでのわらべうたのうち、音階がソラやミソラでできたもの

- ・教科書版で、始めてドレミの音階が登場する。試案版では、わらべ歌の基本的な音階となる「ソラ」「ミソラ」をもちいて、これまで学習してきたわらべ歌の階名唱を行いながら歌を学習する。

●＜教科書版＞

活動目標：うたにあわせてふこう

教 材：どんぐりさんのおうち もりのきりかぶ

○＜試案版＞

活動目標：うたにあわせてふこう

教 材：これまでのわらべうたのうち、音階がソラやミソラでできたもの

- ・教科書版で示されている鍵盤ハーモニカを生かして、試案版では、わらべうたを使って学習する。「これまでのわらべうたのうち、音階がソラやミソラでできたもの」を用い、ソラ（あるいは、ドレ、レミ、ファソ）、ミソラ（あるいはレファソ）といった階名唱をした後、鍵盤ハーモニカで吹いてみる。

4) 題 材 名：ようすをおもいうかべて

題材のねらい：

- ・歌詞の表す様子を思い浮かべたり、歌い方をくふうしたりすることができるようにする。
- ・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに表現したり聴いたりすることができるようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：かんじをだしてうたおう

教 材：こねこのきょうだい

○＜試案版＞

活動目標：かんじをだしてうたおう

教 材：うさぎ ほたるこい

- ・ここでは、歌詞の表す様子を思い浮かべたり、楽曲の気分を感じ、表現することをねらっている。教科書版で用いられている「こねこのきょうだい」に対して、試案版では「うさぎ」「ほたるこい」を教材としてあげた。情景をあらわす日本の歌をうたい、目標を達成したい。

●＜教科書版＞

活動目標：おはなしをつくろう

教 材：おもちゃのへいたい

○＜試案版＞

活動目標：うたいながらえをかいてみましょう

教 材：えかきうた（にーちゃんが、さんちゃんが、ぼーがいつぼん、など）

- ・教科書版では、イエッセルの「おもちゃのへいたい」を鑑賞し、その音楽からおはなしを想像させている。試案版では、わらべ歌の「えかきうた」を用いる。各種のえかき歌をうたいながら歌から

描かれる世界を作り出す。児童の創作する世界をえかきうたで表現させるのもよい。

●＜教科書版＞

活動目標：うたとおはなしであそぼう

教 材：おむすびころりん

○＜試案版＞

活動目標：うたとおはなしであそぼう

教 材：あぶくたった ソラ，ミソラの音を使って「おむすびころりん」の歌をつくる

- ・歌とおはなしを結びつけて想像豊かに音楽表現をすることをねらいとしている。教科書版では、「おむすびころりん」のお話を歌で表現するが、試案版では、「あぶくたった」など、おはなしのものになったわらべうたを用いる。また、教科書の「おむすびころりん」の歌詞をソラやミソラの音階を使って教師の創作による歌を歌ったり、児童の創作活動を関連させるのも良い。

5) 題 材 名：みんなであわせて

題材のねらい：

- ・互いの音を聴きながら、拍の流れを感じ取ってリズム表現ができるようにする。
- ・楽器の音色や響きを感じ取りながら、聴いたり合奏したりすることができるようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：いろいろながつきであそぼう

教 材：とんくるりん ぱんくるりん

○＜試案版＞

活動目標：いろいろながつきであそぼう

教 材：太鼓（鉦留め太鼓，締め太鼓など）や鉦からでるいろいろな音

- ・教科書版ではカスタネットやタンブリンを用い手，拍の流れを感じ取ってリズム表現をする計画である。試案版では，鉦留め太鼓，締め太鼓など，日本の太鼓や鉦を用いて，様々な音色を楽しみながら，その音をドン，トン，カッ，テン，チンなどで表現し，唱歌（しょうが）を使ったリズムパターンを作りながら音楽を楽しむ。

●＜教科書版＞

活動目標：どんなばめんがうかんだかな

教 材：そりすべり

○＜試案版＞

活動目標：どんなばめんがうかんだかな

教 材：獅子舞や山車のお囃子，地域の行事や祭の音楽

- ・楽器の音色や響きを感じながら音楽を聴く学習である。教科書版では，アンダソンの「そりすべり」を用いて，そりが走っている様子を感じ取ろうとしている。試案版では，獅子舞や山車のお囃子，地域の行事や祭の音楽を用いて，どのような様子を思い浮かべるか，それはどんな音からかななどを考えていく。

●＜教科書版＞

活動目標：たのしくがっそうしよう

教 材：こいぬのマーチ

○＜試案版＞

活動目標：たのしくがっそうしよう

教 材：太鼓や鉦からつくったリズムパターン

- ・楽器を使つての合奏の場面である。教科書版では，鍵盤ハーモニカ（あるいはハーモニカ）と鉄琴による「こいぬのマーチ」が計画されているが，試案版では，先の題材で作り出した太鼓や鉦のリズムパターンを用いる。ここではそれらのリズムパターンをつなげたり組み合わせたりして，平易な曲を作る。



## ●＜教科書版＞

活動目標：いろいろなおとがきこえるよ

教 材：もりのすいしゃ

## ○＜教科書版＞

活動目標：いろいろなおとがきこえるよ

教 材：ほら貝、チャップ、ささら、拍子木などの日本の楽器、土笛、土鈴、草笛などの音のでるおもちゃ

- ・教科書版では、鑑賞教材としてアイレンベルクの「もりのすいしゃ」を用い、曲の中に出てくるいろいろな音を聴きだす。試案版では、「ほら貝、チャップ、ささら、拍子木などの日本の楽器、土笛、土鈴、草笛などの音のでるおもちゃ」など、たくさんの日本の楽器やおもちゃを紹介してこれらの楽器の音に気を付けて聴き、様々な日本の音を楽しむ。

## 6) 題 材 名：ひろがれうたのわ

題材のねらい：

- ・発音や声の出し方に関心を持ち、自分の歌声に気づいて歌ったり、声をそろえて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。

## ●＜教科書版＞

活動目標：リズムにのってうたおう

教 材：もりのくまさん

## ○＜試案版＞

活動目標：リズムにのってうたおう

教 材：からすかねもんかんざぶろう

- ・発音や声の出し方に気を付けて、声をそろえリズムにのってうたうことをねらいとして、教科書版では「もりのくまさん」が教材としてあげられている。試案版では、「からすかねもんかんざぶろう」を紹介してあるが、「もりのくまさん」と同様、お話のある歌である。クラスで声をそろえて歌いたい。

## ●＜教科書版＞

活動目標：きもちをこめてうたおう

教 材：そろそろはるですよ

## ○＜試案版＞

活動目標：きもちをこめてうたおう

教 材：ねんねんころりよ

- ・教科書版では、発音や声の出し方に気を付けて気持ちを込めてうたう曲として「そろそろはるですよ」があげられている。試案版では、「ねんねんころりよ」などの子守歌を取り上げた。この曲だけではなく、各地域に伝わる種々の子守歌も適宜用いる。

## 2 第2学年

## 1) 題 材：みんなあつまれ

題材のねらい：

- ・音楽活動の楽しさを味わい、進んで表現しようとする意欲を育てる。
- ・友達と一緒に身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。

## ●＜教科書版＞

活動目標：みぶりをつけてうたおう

教 材：えがおできょうも

## ○＜試案版＞

活動目標：みぶりをつけてうたおう

教 材：おべんとうのうた じゃんけんうた各種

- ・教科書版では、教材曲「えがおできょうも」を用い、歌詞の中にでてくる様々な身体表現を加えて音楽を楽しむことができるように計画されている。試案版でも、1年時に歌った「おべんとうのうた」や、たくさんのじゃんけん歌をはじめ、身体表現の伴うわらべ歌を教材とし、音楽活動をする。

●＜教科書版＞

活動目標：いろいろなくにのことばでうたおう

教 材：みんなで1・2・3

○＜試案版＞

活動目標：いろいろなくにのことばでうたおう

教 材：かぞえうた（ひとつふたつ、に一しーろー、ひーふーみー、ひとつとや、など）各種

- ・教科書版で取り入れられている、いろいろなくにのことばで数を数える発想から、試案版では、日本のかぞえうたを各種用いる。数を数える時の様々な数え方や歌のリズムを楽しみながら、日本的な歌の良さを味わう。

●＜教科書版＞

活動目標：どんなあそびをするのかな

教 材：いろいろなくにのあそびうた（むっくりくまさん、ロンドンばしなど）

○＜試案版＞

活動目標：どんなあそびをするのかな

教 材：かごめかごめ（せっせっせーなどではじまる各種のあそび歌）

- ・友達と一緒に身体表現をして音楽を楽しむ活動である。教科書版のいろいろなくのあそびうたの発想をそのまま応用し、これに日本を加えていく。せっせっせーではじまる各種の遊び歌を歌って遊ぶ。

●＜教科書版＞

活動目標：うたってあそぼう

教 材：かくれんぼ なわとびうた 手あそび歌 まりつきうた

○＜試案版＞

活動目標：うたってあそぼう

教 材：かくれんぼ なわとびうた 手あそび歌 まりつきうた

- ・この活動は、教科書版をそのまま生かすことができる。

●＜教科書版＞

活動目標：こえをあわせてうたおう

教 材：うたえバンバン

○＜試案版＞

活動目標：こえをあわせてうたおう

教 材：はないちもんめ

- ・みんなで声を合わせて歌い、音楽活動も楽しさを味わう学習である。教科書版では「うたえ バンバン」が教材とされているが、試案版では、「はないちもんめ」など、声を合わせて歌って楽しみ歌を取り上げる。この他にも集団で遊ぶ歌の中から選択する。

2) 題 材：音がくにあわせて

題材のねらい：

- ・歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れを感じ取ることができるようにする。
- ・拍の流れに乗って、簡単なリズムが表現できるようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：うたにあわせてあそぼう

教 材：かっこう

## ○＜試案版＞

活動目標：うたにあわせてあそぼう

教 材：はないちもんめ

- ・ 拍の流を感じ取り、簡単なリズム表現ができるようにする学習が計画されている。「かつこう」の3拍子によってタンブリンやカスタネットでリズム表現をする活動であるが、試案版では、「はないちもんめ」のうたに、手でリズムをとったり、木魚や木鉦などの日本の楽器による伴奏付けをする。なお、教科書版では、これに加えて、「かつこう」のふしを鍵盤で弾く学習も紹介されているが、同様に試案版では、「はないちもんめ」を鍵盤によって表現するのも良い。

## ●＜教科書版＞

活動目標：がっきでふしをひこう

教 材：かえるのがっしょう

## ○＜試案版＞

活動目標：がっきでふしをひこう

教 材：ほたるこい かごめかごめ

- ・ 楽器による表現である。教科書版では「かえるの がっしょう」を用い、ド〜ラまでの音を使って鍵盤により学習する。試案版では、1年次にミソラ（レファソ）の表現まで行っている野で、ここでは使用する音を増やして（ミソラシ、あるいはレファソラ）「ほたるこい」や「かごめかごめ」を鍵盤を使って演奏して楽しむ。

## ●＜教科書版＞

活動目標：ふしやリズムをつくってあそぼう

教 材：みみずくおじさん

## ○＜試案版＞

活動目標：リズムをつくってあそぼう

教 材：ドンドンカカカ、ドンコドンコ、テンテケ、テケテケなどの太鼓のリズム

- ・ 教科書版のリズム創作を生かして、試案版では、日本の唱歌（しょうが）を活用する。「ドンドンカカカ、ドンコドンコ、テンテケ、テケテケ」などの太鼓の唱歌を教師が唱えるのに合わせたり、唱歌そのものを作ったり、それらを組み合わせたりして音楽を作り出す。

## ●＜教科書版＞

活動目標：ばんそうとあわせよう

教 材：なかよしマーチ

## ○＜試案版＞

活動目標：おいかけあつてがっしょうしよう

教 材：ほたるこい かごめかごめ などの輪奏

- ・ 教科書版では、「なかよし マーチ」の音楽に野って、タンタタタンタンなどのリズム伴奏をしたり、鍵盤ハーモニカなどで演奏したりする活動が計画されている。試案版では、この楽器の演奏やリズムの表現の発想を生かし、鍵盤ハーモニカを用いた輪奏を行う。「ほたるこい」や「かごめかごめ」など、わらべ歌には輪奏に適している曲が多数あるが、それらの中から適したものを教材として選択する。

## ●＜教科書版＞

活動目標：たのしくきこう

教 材：ラデッキーこうしんきょく

## ○＜試案版＞

活動目標：たのしくあわせよう

教 材：〇〇音頭 〇〇甚句 など

- ・ 教科書版では「おんがくにあわせて手びょうしをうったり、からだをうごかしたりしてききましょう」と呼びかけ「ラデッキー行進曲」を鑑賞する。試案版では、こうした音楽の流れにのった身体

表現の学習を生かし、地域に伝わる音頭や甚句、盆踊りの歌などの日本の旋律に合わせて、太鼓や鉦を叩いて日本的なリズムを体験させる。

### 3) 題 材：いい音さがして

題材のねらい：

- ・音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようにする。
- ・階名模唱や暗唱で歌ったり、これをもとに楽器で演奏したりすることができるようにする。

#### ●＜教科書版＞

活動目標：好きな音をあつめよう

教 材：空かんをつかったいろいろな音

活動目標：いろいろな音であそぼう

教 材：かぼちゃ

活動目標：どんなかんじにきこえるかな

教 材：トルコ行進曲

活動目標：音でかんじをあらわそう

教 材：好きな楽器による音の創作

活動目標：音とうたであそぼう

教 材：虫のこえ

#### ○＜試案版＞

活動目標：好きな音をあつめよう

活動目標：いろいろな音であそぼう

活動目標：どんなかんじにきこえるかな

活動目標：音でかんじをあらわそう

活動目標：音とうたであそぼう

教 材：草笛、貝の笛、蟬、ブリキの金魚、でんでん太鼓などの音のでるおもちゃ、うぐいす笛やほととぎす、雪音・風音・雨音をはじめとする歌舞伎の擬音の音、笛、オルゴール、ささら、木魚、松虫、鈴、鉦などの楽器の音

- ・ここでは、教科書版で示されている5つの活動目標に対して試案版でも共通の活動目標を設定するとともに、これらに共通する教材群を設定した。すなわち、草笛、貝の笛、蟬、ブリキの金魚、でんでん太鼓などの音のでるおもちゃ、うぐいす笛やほととぎす、雪音・風音・雨音をはじめとする歌舞伎の擬音の音、笛、オルゴール、ささら、木魚、松虫、鈴、鉦などの楽器の音であるが、これらを使って、音の出し方を調べたり、大きさを変えたり、音楽に合わせたり、虫の声の音楽づくりをしたりする。また、教材選択においては、遊びの中の音、生活の中の音、自然の中の音からも日本の音を探しだして教材化していきたい。教科書版で示されている教材曲「虫のこえ」に対しては、長唄でほどこ曲「蟲の聲」も参考になる。

#### ●＜教科書版＞

活動目標：どんな音がきこえてくるかな

教 材：かじやのポルカ

活動目標：どんな音がきこえてくるかな

教 材：音具のためのエチュード I. II. III. IV

- ・教科書版では、どんな音がきこえてくるかなとした目標を立て「かじやのポルカ」を鑑賞している。試案版では、「音具のためのエチュード I. II. III. IV」(吉川和夫作曲、おもちゃが奏でる日本の音、茂手木潔子著、音楽之友社)を鑑賞させ、この中に用いられている様々な日本の音を聴き取る学習を行う。

#### ●＜教科書版＞

活動目標：がっきをえらんでがっそうしよう

教 材：山のポリカ

○＜試案版＞

活動目標：がっきをえらんでがっそうしよう

教 材：笛、オルゴール、ささら、木魚、鈴、鉦など、自分で選んでつくった音・教科書版では、オルガン、鉄琴、タンブリン、鈴などの楽器を選んで「山のポリカ」を合奏している。試案版においては、笛、オルゴール、ささら、木魚、鈴、鉦など、自分で選んでつくった音を用いて、「音具のためのエチュード I. II. III. IV」を参考に、選んだ音をつなげて、自分たちで音楽を作る学習を行う。

4) 題 材：ようすをおもいうかべて

題材のねらい：

- ・歌詞の表す様子を思い浮かべたり、歌い方を工夫したりすることができるようにする。
- ・楽曲の気分を感じ取って、想像豊かに表現したり聴いたりすることができるようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：かんじを出してうたおう

教 材：はるなつあきふゆ

○＜試案版＞

活動目標：かんじを出してうたおう

教 材：てるてるぼうず おおきむこさむ

- ・教科書版では、教材曲「はるなつあきふゆ」の歌詞の内容や楽曲の気分を感じ取って歌う学習である。試案版では、日本の歌として「てるてるぼうず」や「おおきむこさむ」など、情景や気持ちを表した曲を選択し、気持ちをこめて想像豊かに表現する。

●＜教科書版＞

活動目標：気もちをこめてうたおう

教 材：小ぎつね

○＜試案版＞

活動目標：気もちをこめてうたおう

教 材：うえみれば蟲コ

- ・教科書版では、「小ぎつね」を教材として「小ぎつねはどんな気もちでいるのかな」といった呼びかけを通して、気持ちを込めて歌唱表現することをねらいとしている。これを受け試案版では、「うえみれば蟲コ」などの情景描写や心理描写のある曲を選択して、表現の工夫をする。また、地唄の「荒れ鼠」なども参考にする。

●＜教科書版＞

活動目標：うごきを感じてきこう

教 材：めんどりとおんどり (サン・サーンス)、たまごのからをつけたひよこのおどり (ムソルグスキー)

○＜試案版＞

活動目標：どんなようすがおもいうかぶかはなしあってみよう

教 材：お寺の鐘、バナナのたたき売り、がまの油売りなどの音風景、沖揚げソーラン節などの仕事歌

- ・教科書版では、「めんどりとおんどり (サン・サーンス)、たまごのからをつけたひよこのおどり (ムソルグスキー)」といった曲を用い、音楽から想像される動物の動きをおもいうかべてみる。試案版では、動きや風景、あるいは仕事に直結する日本の音や音楽「お寺の鐘、バナナのたたき売り、がまの油売りなどの音風景、沖揚げソーラン節などの仕事歌など」を聴き、どのような様子が思い浮かぶか話し合ってみる。

●＜教科書版＞

活動目標：うたとおはなしであそぼう

教材：ないたあかおに

○＜試案版＞

活動目標：うたとおはなしであそぼう

教材：「ないたあかおに」の歌詞に、ソラ、ミソラ、レミソラといった伝統的な音階でふしをつくった曲

- ・教科書版で示されている「ないたあかおに」の日本的な世界を試案版ではそのまま活用し、「ないたあかおに」の歌詞にソラ、ミソラ、レミソラといった伝統的な音階でふしをつくり、歌唱表現する。創作は学校の実態に応じて教師あるいは児童が行う。また、その際、鍵盤ハーモニカを用いたり、鍵盤の黒鍵を利用することも考えられる。

5) 題材：みんなであわせて

題材のねらい：

- ・互いの音を聴きながら、拍の流れを感じ取ってリズム表現ができるようにする。
- ・楽器の音色や響きを感じ取りながら、聴いたり合奏したりすることができるようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：うたにあわせてえんそうしよう

教材：えがおかがやいて

○＜試案版＞

活動目標：ふしをあわせてうたおう

教材：かごめかごめ ひらいたひらいた

- ・教科書版では「えがおかがやいて」のうたにあわせて、好きな楽器を演奏しながら互いの音を意識して合奏を行う。試案版では、わらべうた「かごめかごめ」「ひらいたひらいた」の二つの歌を同時にあわせてその響き合いを楽しむ。こうした共通の音階構造を持つわらべ歌は他にもあるので、いくつかの歌を重ね合わせて歌うことも可能である。あるいは、一つの歌を輪唱して、重なりあう響きを体験する学習も可能である。

●＜教科書版＞

活動目標：ききあつてうたおう

教材：木のはのゆうびん

○＜試案版＞

活動目標：ききあつてうたおう

教材：とおoryんせ

- ・聞き合って歌う活動として、教科書版では、輪唱曲として「木のはのゆうびん」が提示されている。試案版では、「とおoryんせ」を示したが、この曲を輪唱したり、あるいは、最後の「とおoryんせ」の部分を「ラーラソラー」と「ラーラソミー」というように二種類の歌い方をして4度の響きを作る学習をしたりする。小泉の示すところの四度の和音や対位法5の学習にあたる。

●＜教科書版＞

活動目標：いろいろながっきのひびきをきこう

教材：森の音がくかい

○＜試案版＞

活動目標：いろいろながっきのひびきをきこう

教材：江戸祭囃子、神楽囃子、天神囃子、地域のお囃子など

- ・教科書版では教材曲「森の音がくかい」を鑑賞し、いろいろながっきの音のちがいや、音のかさなり合いを感じながら聴く学習となっている。試案版では、この意図を生かし、様々な日本のお囃子「江戸祭囃子、神楽囃子、天神囃子、地域のお囃子など」に焦点を当てて、そのお囃子に用いられている楽器を吹いたり打ったりする真似をしながら聴く。また、奏法にも耳を傾けさせる。地域の

お囃子も積極的に取り入れる。

●＜教科書版＞

活動目標：たのしくがっそうしよう

教 材：こぐまの二月

- ・この活動は、次の題材の中に含めて計画をしてある。

6) 題 材 名：かぜにのれうたごえ

題材のねらい：

- ・発音や声の出し方に関心を持ち、自分の歌声に気づいて歌ったり、声をそろえて歌う喜びを味わったりすることができるようにする。

●＜教科書版＞

活動目標：のびのびとうたおう

教 材：おおきなうた

○＜試案版＞

活動目標：三つのふしをあわせてのびのびとうたおう

教 材：かごめかごめ ひらいたひらいた ほたるこい などの三声部による合唱や輪唱

- ・ここでは、複数の声部を取り入れて、声をそろえてのびのびとうたう学習が意図されている。試案版では、前の活動（合奏）も意識しながら、わらべ歌の三声部にわかれた合唱や輪唱に挑戦する。「かごめかごめ ひらいたひらいた ほたるこい」といった曲をそれぞれの声部ごとに歌い合わせたり、輪唱することにより生まれる音の響きを感じ取りながら、のびのびと歌う活動である。

#### Ⅳ おわりに

以上、本年度より使用されている新しい教科書に則って、教科書とともに進める日本音楽学習の計画を示してきた。本稿では、小学校1・2年生でとどまっているが、今後他の学年の計画も提示していきたい。また、こうした研究を進める中で、学校教育における日本音楽の位置付けを明確にするとともに、学校における音楽教育全体を見据えた学習内容・計画について理論と実践の双方を融合させた研究を推進していきたい。

#### 注

- 1 拙稿「教科書と一緒に進める日本の音楽の年間計画」 2001年11月 新潟大学教育人間科学部紀要 第4巻 第1号 100～116頁
- 2 『小学生のおんがく1』及び『小学生のおんがく2』教育芸術社 平成14年
- 3 小泉文夫『子どもの遊びとうた』1986年（原文の初出1962年）草思社 p.192
- 4 小島美子『歌をなくした日本人』音楽之友社 1991年（第一刷1981年）p.239 あるいは、「音楽教育についての新しい提案」第一回民俗音楽研究会提案資料（日本民俗音楽学会）1998年など。
- 5 前掲注3, p.193





1年生 2/2

|   |  |   |  |   |  |
|---|--|---|--|---|--|
| <p>＊ようすをおもしろく<br/>べて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の表す様子を思い浮かべたり、歌い方をくふうしたりすることができるとする。</li> <li>・楽曲の気分を感じ取ったり聴いたりすることができるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・かんじをだしてうたおう</li> <li>・おはなしをつくろう</li> <li>・うたとおはなしであそぼう</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こねこのきょうだい</li> <li>・おもちゃのへいたい</li> <li>・おむすびころりん</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・かんじをだしてうたおう</li> <li>・うたいながえをかいてみよう</li> <li>・うたとおはなしであそぼう</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・うさぎ</li> <li>・はたるこい</li> <li>・えかきうた (にーちゃん、さんちゃん、ぼーがいっぱいなど)</li> <li>・あぶくたった</li> <li>・ソラ、ミソラの音を使って「おむすびころりん」の歌をつくる。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情景がうかぶ日本の歌</li> <li>・えかき歌各種 (児童の創作も可)</li> <li>・お話がともなうわらべうた</li> <li>・わらべうた風の創作を行う。(教師の創作などもよい)</li> </ul>  |
| <p>＊ひろがれうたのわ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音や声の出し方に関心をもち、自分の歌声に気づいて歌ったり、声をそろえて歌う喜びを味わったりすることができるとする。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろながつきであそぼう</li> <li>・どんなばめんがうかんだかな</li> <li>・たのしくがつそらしよう</li> <li>・いろいろなおとがきこえるよ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・とんくるりんぱんくるりん</li> <li>・そりすべり</li> <li>・こいぬのマーチ</li> <li>・もりのすいしや</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろながつきであそぼう</li> <li>・どんなばめんがうかんだかな</li> <li>・たのしくがつそらしよう</li> <li>・いろいろなおとがきこえるよ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓 (紙留め太鼓、締め太鼓など) や鉦から出るいろいろな音</li> <li>・獅子舞や山車のお囃子、地域の行事や祭りの音楽</li> <li>・太鼓や鉦からつくったリズムパターン</li> <li>・ほら貝、チャップパ、ささら、拍子木などの日本の楽器、土笛、簫、草笛などの音のおもちゃ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出た音をドン、トン、カッテン、チンなどで表現し、唱歌を使ったリズムパターンをつくる。</li> <li>・音楽からどんなようすをおもいかけるか、それはどんな音からか考えてきく。</li> <li>・リズムパターンを組み合わせて平易な曲をつくる。</li> <li>・いろいろながつきのおとをつけてきく。</li> </ul> |
| <p>＊ひろがれうたのわ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音や声の出し方に関心をもち、自分の歌声に気づいて歌ったり、声をそろえて歌う喜びを味わったりすることができるとする。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムにのってうたおう</li> <li>・きもちをこめてうたおう</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・もりのくまさん</li> <li>・そろそろはるですよ</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムにのってうたおう</li> <li>・きもちをこめてうたおう</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・かれすかねもかんざぶろう</li> <li>・ねんねんころりよ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしのある歌</li> <li>・各地のこもりうた</li> </ul>   |

## 資料 2

2年生 1/2

| ＊題材名<br>＊題材のねらい  | ＊活動目標(教科書版)   | ＊教材(教科書版)   | ＊活動目標(試案版)  | ＊教材例他(試案版)   | ＊留意点他(試案版)  |
|--|---|---|---|--|---|
| ＊みんなあつまれ<br>＊音楽活動の楽しさを味わい、進んで表現しようとする意欲を育てる。<br>＊友達と一緒に身体表現をしたりする楽しさを味わうようにする。 | ＊みぶりをつけてうたおう<br>＊いろいろななくのことばでうたおう<br>＊どんなあそびをするのかな<br>＊うたってあそぼう<br>＊こえをあわせてうたおう | ＊えがおできようも<br>＊みんなで1・2・3<br>＊いろいろななくのこそびらた(むつくりくまさん など)<br>＊かくれんぼ<br>＊なわとびうた<br>＊手あそびうた<br>＊まりつきうた<br>＊うたえバンバン | ＊みぶりをつけてうたおう<br>＊いろいろななくのことばでうたおう<br>＊どんなあそびをするのかな<br>＊うたってあそぼう<br>＊こえをあわせてうたおう | ＊おべんとうのうた<br>＊じゃけんうた各種<br>＊かぞえうた(ひとふーみー、にーろー、ひーふーみー、ひとつとやーなど)<br>＊かごめかごめ<br>＊かくれんぼ<br>＊なわとびうた<br>＊手あそびうた<br>＊まりつきうた<br>＊はないちもんめ          | ＊たくさんさんのわらべうた<br>＊日本のかぞえうた<br>＊せつせーのよいよいではじまる種々のうた<br>＊この題材は、教科書のものでそのまま生かすことができる。  |
| ＊音がくにあわせて歌ったり身体表現をしたりして、拍の流れるようにする。<br>＊拍の流れるに乗って、簡単なリズムが表現できるようにする。           | ＊うたにあわせてあそぼう<br>＊がつきでふしをひこう<br>＊ふしやリズムをつくってあそぼう<br>＊ばんそうとあわせよう<br>＊たのしくきこう      | ＊かつこう<br>＊かえるのがつしよう<br>＊みみずくおじさん<br>＊なかよしマーチ<br>＊ラデッキーこうしんきよく   | ＊うたにあわせてあそぼう<br>＊がつきでふしをひこう<br>＊リズムをつくってあそぼう<br>＊おいかけあつてがつそうしよう<br>＊たのしくあわせよう   | ＊はないちもんめ<br>＊はたるこい<br>＊かごめかごめ<br>＊ドンドンカカカ、ドンコドンコ、テンテケ、テケテケなどの太鼓のリズム<br>＊はたるこい、かごめかごめの輪奏<br>＊〇〇音頭、〇〇甚句など、                                 | ＊手でリズムをとったり、木魚など日本の楽器による伴奏付けをする<br>＊鍵盤ハーモニカで演奏を楽しむ<br>＊教師の唱歌に合わせてたたいたり、唱歌を作ったりそれらを組み合わせてたりする。<br>＊鍵盤ハーモニカの輪奏を楽しむ<br>＊日本の旋律に合わせて、太鼓や鉦をたたく。 |
| ＊いい音さがして<br>＊音や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりして、音に関心をもつようになる。                         | ＊すきな音をあつめよう<br>＊いろいろな音であそぼう<br>＊どんなかんじにきこえるかな<br>＊音でかんじをあらわそう<br>＊音とらたであそぼう     | ＊空きかんをかつた<br>＊いろいろな音<br>＊かほちや<br>＊トルコこうしんきよく<br>＊すきながつきによる音の創作<br>＊虫のこえ                                       | ＊すきな音をあつめよう<br>＊いろいろな音であそぼう<br>＊どんなかんじにきこえるかな<br>＊音でかんじをあらわそう<br>＊音とらたであそぼう     | ＊草笛、貝の笛、蟬、ブリキの金魚、でんでん太鼓などの音の音のおもちゃ、うぐいす笛やはじめとする歌舞伎の擬音の音、笛、オルゴール、さらら、木魚、松虫、鈴、鉦などの楽器の音を使つて、音の出し方をしらべたり、大きさをかえたり、音楽に合わせたり、虫のこえの音楽づくりをしたりする。 | ＊あそびの中の音、生活の中の音、自然の中の音からも日本の音を探し出して教材化する。<br>＊長鳴てはどき曲「蟲の聲」も参考になる。   |

